



角 笛 会 会 報

ホームページ: http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml

発行所

日本大学生物資源科学部
獣医学科角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野 1 8 6 6

0 4 6 6 - 8 4 - 3 6 2 4



巻頭のご挨拶

角笛会会長 中 川 秀 樹 (昭和40年卒)

会員各位におかれましては、日頃より角笛会の活動に御協力と御支援を賜っておりますことに御礼と感謝を申し上げます。

角笛会は日本社会が戦後の混乱状態にあった中で、再興に奔走された諸先輩の尽力により今日があります。

その当初より長く会長の任に精励されました獣医学博士田中延吉先生が去る6月25日に御逝去されました。角笛会都道府県支部を構築され、卒業生の親睦をはかり、母校の発展に寄与する会を組織立てて頂きました先生の御労苦に深甚なる感謝を表すと共に御冥福を祈念申し上げ、ここに謹んで御知らせ申し上げます。

平成25年度角笛会総会は去る6月30日に湘南キャンパス10号館第4講義室で開催されました。審議4事項すべてが満場一致で承認され、昨年度より新たな事業として発足いたしました同期会補助は7件の申請を支援いたしました。また、本年度から角笛会会報をカラー印刷にすることも併せて承認され、総会終了後には角笛会功労者として鈴木篤氏、重田雅彦氏、大谷静雄氏、松本光和氏が表彰を受けられました。25年度ANMEC研究助成は山田宏美氏の研究「イヌにおける脱分化脂肪細胞移植による脊髄再生療法の検討」へ30万円が授与されました。人々の生活に潤いと心の支えになっている動物の医療が再生再建医療へと発展させる時代になりつつあります。また、本年度の困窮学生支援事業は1件の相談を受理しております。

第12回日本大学医療系同窓・校友学術講演会が10月5日に共通テーマ「高齢化問題」を取り上げ日本大学会館で開催されました。本学からは北川勝人准教授が「高齢動物における神経疾患の診断治療の現状」を講演されました。終了後の質疑応答も活発に盛会裏に終了いたし、参加されました多数の各学部校友より医療系全ての学部を持つ日大の素晴らしさを称賛されました。獣医学科の学部化は決定しておりますが、一日も早く学部教育を実現すると共に、医学、薬学、歯学、獣医学すべてが対等の学部として今後の医療系の連携と情報交流を確立し、社会貢献を推進しなければなりません。校友各位の御支援を願い申し上げます。

本学の歴史も100年を超え、獣医事の職域は益々多岐にわたってまいりました。在校学生も難関である試験に合格した逸材が集結いたしております。校友各位におかれましては後輩への助言、相談対応、指導などに暖かな力添えを賜りたく存じます。今後とも、母校の発展と角笛会の隆盛に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。



ご 挨 拶

獣医学科主任 杉 谷 博 士 (昭和47年卒)

会長の中川秀樹先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育、研究活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがたく、厚くお礼申し上げます。

本年4月、私が野上貞雄前学科主任の後任を拝命致しました。獣医学科の益々の改善、充実を目指してまいりたいと考えておりますので、何卒宜しくご指導、ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

当獣医学科は、本年3月に144名の卒業生を送り出しました。獣医師国家試験にはそのうちの133名が合格し、合格率は92.4%でしたが、日本で一番多くの獣医師を社会に送り出したことになります。卒業生の進路先としては、小動物臨床が減少傾向にあり、それに代わって、公務員やNOSAIが増えて参りました。

4月には140 (男62、女78) 名の新生を迎え、現在の在籍者数は836 (男388、女448) 名となりましたが、女子学生の比率が高い状態が続いております。

また、教員としては、佐藤真伍助手 (獣医公衆衛生学研究室) が4月に着任し、教育の充実、発展が大いに期待されるところであります。

さて、獣医学教育の推進と教育の質保証を目的として、獣医学教育を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。当獣医学科においても、獣医学モデル・コア・カリキュラムを基にした教育体制の構築のため、新しいカリキュラムを来年4月よりスタートさせることとし、さらに教員構成の再編にも着手しております。また、参加型実習への前段階としての共用試験が平成28年から始まりますが、試験の内容検討や設備等の準備も始まっております。第三者による教育

内容評価も図られており、大学基準協会による調査が行われることとなりました。

国立大学では、共同学部教育がスタートし、教員の移動、学生の移動、遠隔授業システムにより、離れた大学間での講義や実習が行われています。しかし、学生の負担、教員の負担を考えますと、これがよい教育方法か否かは疑問です。講義は、学生の応答を見ながらのライブが重要ですので、遠隔授業での獣医学教育レベルの維持・向上は難しいのではないのでしょうか。当獣医学科は、ホームページでもご紹介の通り、入学時の受け入れ、講義過程および卒業認定におけるきちんとした3つのポリシーに基づいた教育を、湘南キャンパスにおいてしっかりと行い、どこの大学にも負けない獣医師の養成に励んでおります。その向こうには、多くの皆様の悲願であった学部独立というものもうかがわれる毎日です。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

◆◆◆◆◆平成25年度角笛会総会・第51回日本大学獣医学会開催◆◆◆◆◆



功労者の授与式

平成25年6月30日（日）、日本大学生物資源科学部10号館において平成25年度角笛会総会及び第51回日本大学獣医学会が開催されました。日本大学獣医学会では亘敏広担当学会長のもと「動物医療における再生医療を考える」と題したシンポジウムと10題の一般講演が行われ、本年度も一般講演と教育講演の時間を大幅に確保したプログラムで内容の充実した学会でした。

角笛会総会では中川秀樹会長より挨拶があり、田村幸生議長（昭和45年卒）の進行で審議が行われました。総会に先立ち、元会長の田中延吉先生をはじめ諸先生方のご訃報に際し、黙祷が行われました。平成24年度の事業活動および会計収支報告があり、承認されました。昨年度、角笛会同期会開催補助が承認されてから7つの同期会補助の申請があり、クラス会員間の活発な交流が報告されました。また平成25年度の事業活動および予算案が審議され、満場一致で承認されました。角笛会の発展に貢献した功労者として奥山隆一氏（山形県）、長谷川生夫氏（栃木県）、中林大氏（新潟県）、水下健次氏（新潟県）、吉田宗弘氏（岐阜県）の5人に賞状と記念品が授与されました。また日本大学動物病院の獣医臨床技術の向上と臨床獣医学研究の活性化を目的としたANMEC支援基金研究助成は、助教の伊藤大介氏（研究課題：犬の嗅粘膜における幹細胞の同定ならびに神経細胞への分化誘導に関する検討）が受賞しました。総会後、食堂棟3階にて開催された懇親会には学部校友会の内田俊太郎会長をはじめ他学科同僚校友会の来賓、角笛会校友、大学教員そして学部生（準会員）など多数の参加者が集りました。相良徹氏（昭和35年卒）の乾杯の音頭で開幕し、にぎやかに談笑するうちに時間が流れ、盛会裏に終了しました。



懇親会の様子



懇親会の様子

【第51回日本大学獣医学会プログラム】	
会 長 丸山 総一（日本大学生物資源科学部） 副 会 長 直井 昌之（直井動物病院） 亘 敏広（日本大学生物資源科学部） 担当学会長 亘 敏広（日本大学生物資源科学部）	シンポジウム「動物医療における再生医療を考える」 座長：杉谷博士（獣医生化学研究室） 1. 動物の再生医療における基礎研究の重要性 森友忠昭（魚病学研究室） 2. 動物の眼科領域における再生医療 滝山直昭（獣医内科学研究室） 3. 犬の骨髄間質細胞を用いた脊髄再生医療の現状と将来展望 枝村一弥（獣医外科学研究室） 4. 犬猫の脊髄再生を目的とした細胞療法の効果と限界 田村勝利（京都大学再生医科学研究所、愛甲石田動物病院）
一般講演（口頭発表） 座長：伊藤琢也（獣医衛生学研究室） 1. プタ腸管カリシウィルスのゲノム検出と遺伝子型別およびウィルス様粒子の作製 ○木内政宏、佐藤 豪、井戸寿之、片山和彦、遠矢幸伸 2. 野生ニホンザルから分離されたBartonella quintanaの遺伝子解析 ○加藤千尋、吉野愛香、佐藤真伍、壁谷英則、鈴木和男、丸山総一 3. 犬子宮蓄膿症の発症機序とTリンパ球の関係について ○北山央人、寺尾剛士、大野真美子、大滝忠利、津曲茂久	座長：手島健次（獣医外科学研究室） 4. 犬の頸部に発生した骨外性骨肉腫の1例 ○山崎悠高、渋谷 久、斎藤慎也、佐藤常男 5. 体外循環下で開心術を実施した僧帽弁閉鎖不全症の犬の病理所見 ○栗原周子、上地正実、水野 祐、水越崇博、水野壮司、海老澤崇史、原田佳代子、西田 幹、藤原めぐみ、鯉江 洋、坂井 学、滝山直昭、中山智宏
座長：山田武喜（亀戸動物病院） 6. 免疫抑制療法により長期間コントロールできているウェルシュ・コーギーの炎症性筋疾患（舌ペラ病）の1例 ○清水七衣、伊藤大介、北川勝人、福永恵太、亘 敏広 7. 犬脾特異的リパーゼ（Spec cPL）が高値を示した犬54例の検討 ○立石春菜、坂井 学、阪本裕美、枝村一弥、浅野和之、北川勝人、滝山直昭、上地正実、亘 敏広	座長：斉藤光芳（獣医薬理学研究室） 8. ミダゾラム・フェンタニルによる麻酔導入効果についての検討 ○篠崎達也、佐野忠士、山谷吉樹、手島健次、亘 敏広、津曲茂久 9. アセプロマジン、メトミジンを用いた術後管理に関する報告 ○武川 光、佐野忠士、山谷吉樹、手島健次、亘 敏広、津曲茂久 10. 塩基性線維芽細胞成長因子によるFGFR2/PI3キナーゼ/Akt経路を介した犬骨髄間質細胞からのニューロン様細胞の分化誘導 ○中野 令、枝村一弥、手島健次、浅野和之、中山智宏、岡林 聖、成田貴則、杉谷博士

総会資料

平成24年度 一般会計収支決算報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 支部会費	1,300,000	1,501,000	△ 201,000	1501人×1,000円
2. 準会員費	2,500,000	2,453,000	47,000	校友会本部
3. 学部校友会交付金	200,000	250,000	△ 50,000	学部より
4. 雑収入	826	167	659	利息等
5. 前年度繰越額	1,236,174	1,236,174	0	平成23年度分
収入合計 (A)	5,237,000	5,440,341	△ 203,341	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 経常費	1,770,000	1,416,102	353,898	
(1) 会合費	50,000	3,790	46,210	会議等
(2) 交際費	300,000	267,643	32,357	支部総会祝い金・慶弔費等
(3) 旅費交通費	920,000	573,025	346,975	支部総会旅費等
(4) 通信運搬費	100,000	108,382	△ 8,382	通信料・郵送料
(5) 事務局運営費	400,000	463,262	△ 63,262	給与・消耗品等
2. 会報費	250,000	224,280	25,720	会報28号(含発送料)
3. 名簿管理費	230,000	220,638	9,362	業務委託費等
4. 準会員支援費	900,000	693,594	206,406	記念品代・国家試験・学内行事等支援
5. 褒賞費	200,000	43,680	156,320	功労賞
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第50回日本大学獣医学学会
7. 補助費	130,000	130,000	0	第11回日本大学医療系同窓・校友会
8. 組織拡充費	300,000	252,000	48,000	ホームページ管理等
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿会計へ
10. 特別会計Ⅱ	500,000	500,000	0	将来事業基金・ANMEC支援基金
11. 特別会計Ⅲ	200,000	200,000	0	角笛会支援基金
12. 予備費	557,000	217,600	339,400	パソコン・記念樹看板
支出合計 (B)	5,237,000	4,097,894	1,139,106	三菱東京UFJ銀行

平成24年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,342,447 円

平成24年度 懇親会費収支報告書

収入の部			
科目			備 考
懇親会参加費		340,000	5,000円/66人・夜渡
準会員参加費		160,000	準会員会費より
収入合計		500,000	
支出の部			
科目			備 考
懇親会費		500,000	

平成24年度 特別会計Ⅰ収支決算報告書【名簿会計】

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	平成24年度分
2. 雑収入	121	519	△ 398	利息
3. 前年度繰越額	3,249,879	3,249,879	0	
収入合計 (A)	3,250,000	3,250,398	△ 398	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成積立金	3,250,000	0	3,250,000	
2. 雑支出	0	0	0	
支出合計 (B)	3,250,000	0	3,250,000	

平成24年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,250,398 円

平成24年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【将来事業資金】

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 将来事業繰入金	200,000	200,000	0	平成24年度分
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
3. 雑収入	4,130	645	3,485	利息
4. 繰越額	3,045,870	3,045,870	0	
収入合計 (A)	3,550,000	3,546,515	3,485	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 将来事業積立金	3,145,000	0	3,145,000	
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	ANMEC支援基金
3. 予備費	105,000	0	105,000	
支出合計 (B)	3,550,000	300,000	3,250,000	

平成24年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,246,515 円

平成24年度 特別会計Ⅲ収支決算報告書【支援基金】

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 角笛会支援基金	200,000	200,000	0	平成24年度分
2. 雑収入	0	0	0	
3. 繰越額	1,000,000	1,000,000	0	
収入合計 (A)	1,200,000	1,200,000	0	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 角笛会支援基金	1,200,000	0	1,200,000	
支出合計 (B)	1,200,000	0	1,200,000	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅰの雑収入内に含まれる。)

平成24年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,200,000 円

平成25年度 一般会計予算(案)

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 支部会員費	1,300,000	1,300,000	0	1300名×@1,000
2. 準会員費	2,500,000	2,500,000	0	校友会本部
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より
4. 雑収入	553	826	△ 273	預金利息等
5. 前年度繰越額	1,342,447	1,236,174	106,273	
収入合計	5,343,000	5,237,000	106,000	

支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 経常費	1,850,000	1,770,000	80,000	
(1) 会合費	30,000	50,000	△ 20,000	会議等
(2) 交際費	300,000	300,000	0	支部総会等祝儀
(3) 旅費交通費	920,000	920,000	0	支部総会等旅費
(4) 通信運搬費	100,000	100,000	0	通信
(5) 事務局運営費	500,000	400,000	100,000	給与・ソフト等
2. 会報費	350,000	250,000	100,000	会報29号
3. 名簿管理費	230,000	230,000	0	業務委託等
4. 準会員支援費	900,000	900,000	0	新入生・卒業生記念品・懇親会招待など
5. 褒賞費	200,000	200,000	0	功労賞・角笛会会長賞・特別賞
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第51回日本大学獣医学学会
7. 医療系校友会補助費	130,000	130,000	0	第12回日本大学医療系同窓・校友会
8. 同期会補助費	100,000	0	100,000	同期会・同窓会補助費
9. 組織拡充費	300,000	300,000	0	ホームページ管理等
10. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿作成繰入金
11. 特別会計Ⅱ	500,000	500,000	0	将来事業繰入金・ANMEC
12. 特別会計Ⅲ	200,000	200,000	0	角笛会支援基金
13. 予備費	383,000	557,000	△ 174,000	
支出合計	5,343,000	5,237,000	106,000	

平成25年度 特別会計Ⅰ予算【名簿会計】(案)

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	一般会計より
2. 雑収入	602	121	481	預金利息等
3. 繰越額	3,250,398	3,249,879	519	
収入予算合計	3,251,000	3,250,000	1,000	

支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 名簿作成積立金	3,251,000	3,250,000	1,000	
2. 雑支出	0	0	0	
支出予算合計	3,251,000	3,250,000	1,000	

平成25年度 特別会計Ⅱ予算【将来事業資金】(案)

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 将来事業積立金	200,000	200,000	0	一般会計より
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	一般会計より
3. 雑収入	485	4,130	△ 3,645	預金利息等
4. 繰越額	3,246,515	3,045,870	200,645	
収入予算合計	3,747,000	3,550,000	197,000	

支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 将来事業積立金	3,342,000	3,145,000	197,000	次回式典及び記念誌作成の為の積立
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
3. 予備費	105,000	105,000	0	
支出合計	3,747,000	3,550,000	197,000	

平成25年度 特別会計Ⅲ予算【支援基金】(案)

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 角笛会支援基金	200,000	200,000	0	
2. 雑収入	0	0	0	
3. 繰越額	1,200,000	1,000,000	200,000	
収入予算合計	1,400,000	1,200,000	200,000	

支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 角笛会支援基金	1,400,000	1,200,000	200,000	
支出合計	1,400,000	1,200,000	200,000	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

動物病院だより

平成25年度日本大学動物病院 (ANMEC) 便り

動物病院長 津曲 茂久

今年の7月に行われた学部長選挙において河野英一先生が生物資源科学部長に再選され、10月1日より河野執行部2期目がスタートしました。それに伴い病院長の再任辞令を頂きました。これまでの病院長としての3年間の総括としては、危機管理システムの確立、FD/SD講習会の新設、科長会議を全臨床教員参加に切り替えと年間8回開催、有給研修医の評価システムの確立などが挙げられ、60人を超える組織の運営基盤が確立されつつあります。一方、反省点としては7年来の事業である電子カルテシステムや会計システムの統合化が進まず、今後抜本的な対応が求められております。さらに、平成28年度から開始される参加型臨床実習実施に向けて、現状の6診療科(学生12人グループ)を12診療科(学生6人グループ)に拡充、1診療科最低2名主治医にするために特任助教制度の確立、産業動物診療実習施設の新設、小動物病院施設の拡張など、様々な課題が残されております。

病院長2期目の使命として、まず上記の課題を最優先して解決するのは当然ですが、獣医学科・動物病院の様々な要望を学部執行部に最優先して受け入れてもらうには厳しい状況にあります。このような現状を起死回生打開する方法としては現状の診療件数5割アップが必要かと思われます。そのためには、臨床教員の増員を求めつつ、臨床と教育に即効性の期待される任期制の特任助教を10名程度採用することが不可欠であり、それにより確実に日本一の大学動物病院になることが期待されます。

現在の有給研修医制度が発足して13年が経過しました。日本大学の有給研修医制度は医学部における医学研修医制度を見習っており、前期研修期間の2年は一般診療技術を習得することになっております。医学部ではさらに専門医を取得するための後期研修医制度があり、3年から10年の研修期間があります。医学部の後期研修医制度は専門医を取得することを目的とした制度であり、獣医界では少し環境が異なりますが、いずれ獣医界でも専門医制度が確立することを踏まえて、ANMECでは後期研修期間を2年間としました。後期研修医制度は少なくとも臨床教員と共に、学生臨床教育の責任を担うことを念頭に作られておりますが、その最大の理由は少ない臨床教員を補うためでした。昨今の参加型臨床実習の動向は当初の想定とは異なったものですが、動物病院が担う学生の臨床教育の場として役割は変わっておりません。もし、一部学生が希望しているような、他大学と同様に前期研修2年間のみに短縮したり、有給研修医希望による後期研修の選択制に変更すると、間違いなく臨床教員の負担は急増し、診療件数は激減します。その結果、将来、参加型臨床実習教育の責任を果たすことが困難になると想定されます。従って、将来どのような研修医制度になろうとも、任期制の特任助教制度だけは早急に導入する必要があります。

ANMECセミナー開催報告

ANMECセミナーは、臨床に必要な基礎から新知見まで網羅した多くの情報の発信源です。ご興味をお持ちの先生方は、どうぞご参加ください。

平成24年度 ANMECセミナー開催 (第193回～第198回)

第193回 (H24.10.15開催)

演題:「呼吸器疾患の外科」

Dr. MaryAnn G. Radlinsky (ジョージア州立大学)

第194回 (H24.11.19開催)

演題:「犬と猫の甲状腺疾患」

松木直章先生 (東京大学・獣医臨床病理学教室)

第195回 (H24.12.17開催)

演題:「猫のそう痒性皮膚疾患の分類・診断・治療」

～Cats are not small dogs!～

西藤公司先生 (東京農工大学・農学研究院動物生命科学部門)

第196回 (H25.1.21開催)

演題:「麻酔にかかわる薬の使い方と循環動態の管理」

手島健次先生 (獣医外科学研究室)

第197回 (H25.2.25開催)

演題:「麻酔の極意、教えます!」

佐野忠士先生

(酪農学園大学・獣医学群・獣医看護学類・動物行動学ユニット)

第198回 (H25.3.18開催)

演題:「てんかん2013」

伊藤大介先生 (総合臨床獣医学研究室)

平成25年度 ANMECセミナー開催 (第199回～第203回)

第199回 (H25.4.15開催)

演題:「脳腫瘍」

北川勝人先生 (総合臨床獣医学研究室)

第200回 (H25.5.20開催)

演題:「嘔吐・吐出を示す疾患の鑑別診断」

～ANMECの症例を中心として～

亘 敏広先生 (総合臨床獣医学研究室)

第201回 (H25.6.10開催)

演題:「薬理作用から考える点眼薬の使用法」

滝山直昭先生 (獣医内科学研究室)

第202回 (H25.7.8開催)

演題:「Nutritional management of diarrhea in dogs and cats (犬と猫の下痢の栄養管理)」

Dr. Lynda Melendez (マーク・モーリス研究所)

第203回 (H25.9.30開催)

演題:「ここまでできる腫瘍外科」

浅野和之先生 (獣医外科学研究室)



動物医科学研究センターセミナー開催報告

動物医科学研究センターセミナー開催 (第81回～第90回)

第81回 (H24.10.16開催)

演題;「オーエスキー病について」

山田俊治先生

(動物衛生研究所 動物疾病対策センター知的基盤管理室 室長)

第82回 (H24.11.13開催)

演題;「動物のMHCについて」

椎名 隆先生 (東海大学医学部 講師)

第83回 (H24.12.11開催)

演題;「両生類および爬虫類の疾病」

許 康俊先生 (大韓民国 中北大学 教授)

第84回 (H25.1.15開催)

演題;「牛難治性疾病に対する免疫抑制因子を標的とした新規制御法の開発」

今内 寛先生

(北海道大学 動物疾病制御学講座感染症教室 准教授)

第85回 (H25.2.12開催)

演題;「バイオフィルム形成に関連した感染症について」

泉福英信先生 (国立感染症研究所 細菌第一部六室 室長)

第86回 (H25.3.12開催)

演題;「動物レトロウイルス研究の進展」

宮沢孝幸先生 (京都大学 ウイルス研究所 准教授)

第87回 (H25.5.14開催)

演題;「野生動物に分布するBartonella属菌の生態解明に向けて」

佐藤真伍先生

(日本大学生物資源科学部 獣医公衆衛生学研究室 助手)

第88回 (H25.6.4開催)

演題;「Host-parasite interaction: Learning from trypanosome infections」

Dr. Wigertjes Geert

(オランダワグeningen大学 動物科学部免疫部門 准教授)

第89回 (H25.7.9開催)

演題;「プラス鎖RNAウイルスの増殖に関する宿主因子」

松浦善治先生 (大阪大学微生物病研究所 教授)

第90回 (H25.9.3開催)

演題;「砂漠のめぐみ: アジア-アフリカの乾燥ベルト地帯におけるラクダ生産の試みとその利用」

Dr. Simenew keskes

(エチオピア国ディラ大学助教およびアジスアベバ大学博士研究員)

獣 医 学 科 の 近 況

【獣医師国家試験】

第64回獣医師国家試験が平成24年2月19日、20日にTOC有明4階EASTホールWESTホールにて行われました。日本大学獣医学科から144名が受験し、133名が合格しました。合格率は92.4% (全国平均90.4%) でした。

【表彰、受賞】

平成24年度の卒業生のうち優等賞が齋藤理乃さん、学部長賞が日向綾子さん、有山仁美さん、日本獣医師会会長賞が内田麻奈さん、角笛会賞が森川里美さん、鵜田直子さん、角笛会特別賞が吉川真生さんにそれぞれ授与されました。

【博士 (獣医学) の学位取得者】

課程博士: 高野樹里氏、海老澤崇史氏、林幸太郎氏、坂本裕美氏、佐藤真伍氏、山口卓哉氏

【退 職】

酒井健夫教授 (獣医衛生学) が退職されました。

【人事・昇格】

大場茂夫准教授 (総合臨床獣医学) が特任教授に昇進されました。

【新 任】

佐藤真伍助手 (獣医公衆衛生学) が着任されました。

■新任の先生の自己紹介



(獣医公衆衛生学)
佐藤真伍助手

2013年4月より、日本大学 生物資源科学部 獣医学科 獣医公衆衛生学研究室に助手として着任いたしました佐藤真伍と申します。はじめに、角笛会会報誌に自己紹介文を寄稿させていただく機会を与えてくださいましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。さっそくですが、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、青森県十和田市にある北里大学 獣医畜産学部 (現: 獣医学科) 獣医学科を2008年に卒業し、同年に本学部の丸山総一教授が主宰される獣医公衆衛生学研究室へ研究室員として入室致しました。翌2009年に、本学の大学院生として研究活動を開始し、2013年3月に博士 (獣医学) を取得した後、4月から助手として勤務しております。大学院生時代から「野生動物と人獣共通感染症」を一つの大きな研究テーマとして、鳥獣被害対策に取り組んでいらっしゃる自治体関係者の方や研究機関の方とともに研究させていただいております。研究活動で得られた知見を教育現場へフィードバックしながら、獣医学の奥深さや醍醐味を学部学生の皆さんに分かりやすくお伝えできるよう創意工夫を重ね、大学教育に日々、取り組んでおります。とはいっても、まだまだ右も左も分からないことも多く、諸先輩方の先生ならびに本会員の皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■平成25年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
本校試験（第1期）	35名	1,085（497）	104（56）	10.4
本校試験（第2期）	15名	625（290）	35（18）	17.9
センター試験利用	10名	570（272）	24（12）	23.8
一般推薦（公募制）	学部全体で70名	29（20）	22（15）	1.3
一般推薦（公募制・関連産業後継者）	学部全体で22名	18（7）	11（5）	1.6
校友子女推薦（公募制）	学部全体で23名	7（2）	7（2）	1.0

（ ）内は女子

■学年担任（平成25年度）

- 1 年次：金山喜一教授（獣医生理学）、大滝忠利専任講師（獣医臨床繁殖学）、西村知良准教授（一般教養）
2 年次：浅野隆司教授（獣医薬理学）、鯉江 洋准教授（獣医生理学）
3 年次：遠矢幸伸教授（獣医微生物学）、松本 淳准教授（医動物学）
4 年次：中山智宏教授（獣医放射線学）、加納 壘准教授（獣医臨床病理学）
5 年次：上地正実教授（獣医内科学）、坂井 学専任講師（獣医内科学）
6 年次：鎌田 寛教授（獣医臨床病理学）、枝村一弥専任講師（獣医外科学）

計 報

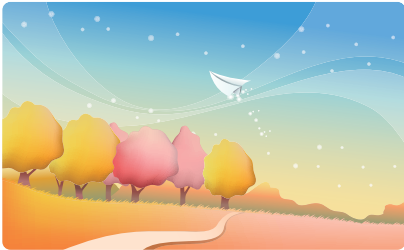
田中延吉先生のご逝去を悼む

獣医臨床繁殖学研究室 教授 津曲 茂久



元角笛会会長であられた田中延吉先生が平成25年6月25日にご逝去されました。田中先生のご略歴を簡単に紐解くと、お生まれは和歌山県であり、昭和19年に東京高等獣医学校をご卒業されております。従来、角笛会は毎年の総会と10年ごとの周年事業を行ってきたそうですが、学園紛争後は15年以上に亘り活動が滞っておりました。昭和59年に全国の同窓の強い要望に基づき角笛会再建総会が開催され、田中延吉先生が角笛会会長に押され、4年後には80周年記念事業が盛大に開催できるまで復活しました。そのような意味で後輩である我々としては田中先生の角笛会再建のご苦勞に対して、心より感謝申し上げる次第です。田中先生は学問にも前向きであられ、「前立腺肥大犬の臨床的検索とその実験的発生に関する研究」により日本大学から獣医学博士号を授与されております（昭和58年）。また、田中先生は獣医師仲間からの人望も厚く、横浜市獣医師会長として長年活躍されました。平成19年の日本大学獣医学科創立100周年記念祝賀会の折には角笛会特別功勞者賞を授与されました。今でも田中先生のご生前の弁舌さわやかなご挨拶や人懐こい笑顔が今でも思い出されます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



トピックス

第12回日本大学医療系同窓・校友学術講演会の開催

事務局長 渋谷 久（昭和62年卒）

第12回日本大学医療系同窓・校友（医学部同窓会、歯学部同窓会、松戸歯学部同窓会、薬学部校友会、獣医学科校友会・角笛会）学術講演会は平成25年10月5日（土）医学部主幹で「高齢化について」をテーマにシンポジウム形式で開催されました。前回の第11回から共通テーマを設けており、講演後に開催する総合討論で自由な情報交換が行われました。角笛会からは総合臨床獣医学研究室内の北川勝人先生が「高齢動物における神経疾患の診断治療の現状」と題して発表しました。人の高齢化に関する他学部の講演に対して、動物の高齢化の現状に関する講演は他学部の校友の先生方にとって新規性のある興味深い内容でした。講演会後の懇親会は生物資源科学部校友会の内田俊太郎会長の乾杯の音頭ではじまり、学部を超えた懇親の輪が広がっていました。日本大学医療系同窓・交友学術講演会は毎年10月頃開催し、日本大学医療系学部の校友が集う唯一の講演会です。また日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムの単位認定がありますので、角笛会会員以外の獣医師もお誘いの上、是非ご参加ください。

北川氏の講演の様子



開会の辞

岡野匡雄（当番学部・日本大学医学部同窓会）

来賓挨拶

大塚吉兵衛（日本大学総長）

第1講演 日本大学薬学部校友会

演者：湯川 仁（仁天堂薬局代表取締役・横浜市戸塚区薬剤師会会長）

座長：岸田邦雄（日本大学薬学部校友会副会長）

薬剤師が行う居宅療養管理

～超高齢化社会を支える在宅の現場から～

第2講演 日本大学歯学部同窓会

演者：飯沼利光

（日本大学歯学部歯科補綴学第I講座専任講師・慶應義塾大学医学部老年内科非常勤講師）

座長：大谷賢二（日本大学歯学部専任講師／日本大学歯学部同窓会学術委員）

お口のはたらきがもたらす健康長寿

～超高齢者研究からわかってきたこと～

第3講演 日本大学松戸歯学部同窓会

演者：河相安彦（日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座教授）

座長：村松 守（日本大学松戸歯学部同窓会学術担当副会長）

要介護高齢者の口腔機能および

口腔健康状態の改善と食生活の質的向上

第4講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会・角笛会

演者：北川勝人（日本大学生物資源科学部獣医学科総合臨床獣医学研究室准教授）

座長：渋谷 久（日本大学生物資源科学部獣医学科獣医病理学研究室准教授）

高齢動物における神経疾患の診断治療の現状

第5講演 日本大学医学部同窓会

演者：泰羅雅登（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授・元日大教授）

座長：平山晃康

（日本大学医学部脳神経科学系神経科学分野教授・日本大学医学部同窓会渉外担当理事）

高齢者の脳機能を健やかに保つための研究

総合討論

閉会の辞

小幡 純（次回当番学部・日本大学歯学部同窓会会長）

懇親会

司会・進行：安藤高夫（日本大学医学部同窓会・渉外副担当理事）

角笛会創立80周年記念樹の表示柱



角笛会創立80周年記念樹の表示柱が朽木のため根元から折れてしまったので、この度新しく作製しました。26年の長きにわたり「くろがねもち」に寄り添ってきた表示柱にできるだけ類似したものを作製しました。新しい表示柱は、記念樹が忘れられないよう見守ってくれるでしょう。



叙 勲 受 章 者

獣医学領域の長年にわたる功労が認められ、平成24年秋の叙勲にて岡山県角笛会の藤井晋氏が旭日双光章、また平成25年春の叙勲にて日本大学名誉教授の長尾壯七氏が瑞宝小綬章を受章されました。藤井氏の祝賀会は角笛会岡山県支部の主催で平成25年2月2日、岡山全日空ホテルにて開催され、多数の校友が参集しました。長尾氏は平成

25年7月13日、生物資源科学部食堂棟3階にて日本大学生物資源科学部校友会懇親会の席上で祝辞が伝えられ、平成25年ミス日本グランプリに輝いた鈴木恵梨佳さんより花束の贈呈がありました。



藤井氏叙勲受章記念祝賀会の様子

平成24年度角笛会支部会・他学科分会の活動状況と派遣者

平成24年度は角笛会16支部へ教員派遣をしました。残念ながら大学の行事と重なり派遣できなかった支部もありましたが、多くの支部が活発に活動している様子がうかがえます。また生物資源科学部校友会分会には角笛会会長あるいは副会長がご臨席され、交流を深めました。

H24年4月28日(土)	新 入 生 歓 迎 会	中川 秀樹会長	10月20日(土)	角 笛 会 福 岡 県 支 部	北川 勝人准教授
5月12日(土)	農 学 校 友 会	佐藤 常男教授	10月27日(土)	角 笛 会 宮 崎 県 支 部	佐藤 常男教授
6月2日(土)	い も づ る 会	中川 秀樹会長	11月24日(土)	工 学 会	中川 秀樹会長
6月16日(土)	桜 水 会	中川 秀樹会長	11月24日(土)	紫 友 会	津曲 茂久教授
6月30日(土)	湘 南 校 友 会	佐藤 常男教授	11月24日(土)	あ す な ろ 会	渋谷 久准教授
7月22日(日)	角 笛 会 栃 木 県 支 部	伊藤 琢也准教授	12月7日(土)	角 笛 会 山 形 県 支 部	渋谷 久准教授
7月28日(土)	角 笛 会 京 都 府 支 部	酒井 健夫教授	H25年1月10日(木)	角 笛 会 東 京 支 部	中川 秀樹会長
8月3日(金)	角 笛 会 福 島 県 支 部	北川 勝人准教授	2月3日(日)	角 笛 会 千 葉 県 支 部	山谷 吉樹准教授
8月19日(日)	角 笛 会 高 知 県 支 部	丸山 総一教授	2月10日(日)	角 笛 会 群 馬 県 支 部	浅野 和之准教授
8月25日(土)	角 笛 会 東 北 海 道 支 部	津曲 茂久教授	2月23日(土)	角 笛 会 茨 城 県 支 部	渋谷 久准教授
9月29日(土)	角 笛 会 熊 本 県 支 部	湯川 真嘉教授	3月10日(日)	角 笛 会 静 岡 県 支 部	津曲 茂久教授
10月11日(木)	角 笛 会 神 奈 川 県 支 部	中川 秀樹会長	3月24日(日)	角 笛 会 愛 知 県 支 部	加納 壘准教授

角笛会関連記事(校友だより)

博友会(33年卒同期会名)の総会開催

北村 徹

昭和33年3月に卒業した同期で「博友会」を結成し東京で、ある時は地方で総会を開いてきたのですが、博友会も今年で55歳になってしまいました。サラリーマンだったら定年退職といったところです。

昨年の開催地「KKRホテル東京」での席上、今回は「福井の地」で開催してほしいとの要望が決議され、この経緯から平成25年度の総会を福井で開催することになりました。実施は平成25年7月7日(日曜)1泊2日の日程で行い、1日目は総会および懇親会。2日目は観光を楽しんでいただきました。会場は「あわら市芦原温泉」「グランディア 芳泉」で開催しました。出席された方は18名(単身8名、婦人同伴5名)でした。日程が「七夕」だったので他と重なり欠席された方もいて反省しています。総会の司会及び進行は常任幹事(東京)が行い、初めに物故者の黙祷。つぎに北村 徹が開催地としての歓迎とお礼の挨拶をした。総会の決議事項は今回の開催地を神奈川県横浜に決めた事。それと博友会の運営について今日まで常任幹事(東京5名)によって執り行なってきたのだが「55年」を節目に「深瀬氏」に会長になって戴いてはとの蟹沢氏からの提案あり、これが満場一致で採択可決され、

これからは会長 深酒 誠のもとで発展と長寿を楽しむ新しい博友会がスタートしました。ひき続き懇親会に入りましたが乾杯の音頭を遠距離出席してくれた北海道の「井内石生」氏にお願いして家族的で和やかな宴の一夜を楽しみました。2日目の観光は柴田勝家；信長のお茶々、お初、お江の三姉妹の戦国コース、禅の里永平寺、越前竹人形の水上文学などを楽しんで戴きました。終りにあって常任幹事の「堀口隆嘉」氏がお祝い事と重なり出席できなかったことは寂しく申し訳ない。また体調すぐれず出席できなかった諸氏には一日も早く快気され次回の横浜でお会いできることを楽しみにしたい。それに今回計画立案に協力を戴いた「グランディア 芳泉」の山口高澄氏(日本大学経済学部卒；長男)に感謝します。末尾になりましたが角笛会本部からご支援を賜りありがとうございました。

文責：福井県 北村 徹(昭和33年卒)



昭和36年卒業(愛信桜会)は、毎年2泊3日の旅行。平成25年は、愛媛、徳島、香川。 倉林恵太郎(昭和36年卒)

平成25年10月20日、愛媛県松山市・道後温泉ホテル「茶玻瑠(ちやはる)」午後6時の宴会を皮切りに、宴会後、いろいろな話が深夜まで弾んで、1泊。第2日の21日は、貸し切りバスで四国霊場第51番札所の石手寺参拝後、松山道・徳島道を使って、大歩危峡(おおばけさよう)遊覧船に乗って奇岩をたっぷり見学した。昼食後、平家落人伝説が伝わる祖谷(いや)地方の平家屋敷民俗資料館を見学した。つぎに日本三奇橋の一つ、かずらの蔓で作った「祖谷のかずら橋」を徒歩で渡り、落人達が古都を偲んで琵琶を奏でたという「琵琶の滝」を見たあと、祖谷峡温泉、ホテル「秘境の湯」で1泊。第3日の22日は、一路、海の守護神「こんぴらさん」へ。まず中村うどん学校で音楽入りの楽しいうどん作り、金刀比羅宮の長い石段をのぼって、参拝

平成25年10月20日、愛媛県松山市・道後温泉ホテル「茶玻瑠(ちやはる)」午後6時の宴会を皮切りに、宴会後、いろいろな話が深夜まで弾んで、1泊。第2日の21日は、貸し切りバスで四国霊場第51番札所の石手寺参拝後、松山道・徳島道を使って、大歩危峡(おおばけさよう)遊覧船に乗って奇岩をたっぷり見学した。昼食後、平家落人伝説が伝わる祖谷(いや)地方の平家屋敷民俗資料館を見学した。つぎに日本三奇橋の一つ、かずらの蔓で作った「祖谷のかずら橋」を徒歩で渡り、落人達が古都を偲んで琵琶を奏でたという「琵琶の滝」を見たあと、祖谷峡温泉、ホテル「秘境の湯」で1泊。第3日の22日は、一路、海の守護神「こんぴらさん」へ。まず中村うどん学校で音楽入りの楽しいうどん作り、金刀比羅宮の長い石段をのぼって、参拝

後、うどん学校で自作のうどんを昼食として美味しく食べた。掛軸で出来ている、中村うどん学校の卒業証書、裏はうどんの造りかたの秘伝が印刷されている。軸木は麺棒という誠にユニークなものを授与された。そして軍神として名高い乃木希典(将軍)ゆかりの品々のある、陸上自衛隊善通寺駐屯地にある、乃木資料館を見学、瀬戸大橋を渡り、玉島ICより、新倉敷駅前に午後2時30分に着き、来年の再会を約束して解散した。

今年は、渋谷到会員が担当した。来年は、岡山・鳥取・山口方面で、今年に続いて、渋谷会員が担当することが、決定した。

今回、愛信桜会のセミナーの講演は、次のとおり。倉林恵太郎①日本大学は山田顕義先生が創った、②今、下馬の学び舎は、③鼠を取(捕)る飼犬、④私の趣味(総論)。鈴木英行先生①豚のサルモネラ症の臓器所見。〈誌上〉青木蓉治先生①温泉物語。

そのほか、参加会員に、日本大学新聞第1318号平成25年9月20日発行と第12回日本大学医療系同窓・校友学術講演会のシラバスを配布した。

今回の参加者は会員18名、同伴8名、合計26名であった。氏名は、次のとおり。(敬称略)

池田勝幸(夫人)、石川幸、大木瑞枝(同伴)、川泉邦雄(夫人)、蔵田幸男(夫人)、倉林恵太郎(妻)、小西鉄作(夫人)、小比類巻志郎、後藤光男、飯塚皓一、渋谷到(夫人)、鈴木敏夫、鈴木英行、竹下勇(夫人)、中野良雄、平井吉孝、疊厚司、吉村武明

角笛会関連記事(支部だより)

■東北海道支部だより

◆平成25年度 角笛会東北海道支部定期総会開催

平成17年、根室管内中標津町での酪農実習が終了するのを契機に発足した角笛会東北海道支部ですが、今回で8回目となる総会を「原点の地」中標津町で開催しました。この8年の間には色々な出来事がありました。運営当初は財源不足から会報の郵送にも事欠く有様でした。その後も会員の高齢化や会員数の停滞など、紆余曲折はありました。ただ、ここ数年は新規採用者の増加に伴い若い会員の参加が増えて活気が出てきています。特に今年は卒業後1・2年の参加者が7人もいて、とてもにぎやかな総会になりました。

総会は8月24日(土)中標津町俵橋に新設された根室地区NOSAI北部事業センターにおいて、実験動物学研究室の佐藤雪太先生をお招きして行われ、参加人数は過去最高の27名になりました。豊川達憲支部長(昭和42年卒)の挨拶の後、榎谷雅文会員(昭和55年卒)が議長に選出され、榎谷議長の手慣れた議事進行により活動報告・会計報告・予算など全ての議案が満場一致で可決承認されました。

続いて、佐藤先生から母校の様子や学内施設の紹介および講演をしていただきました。施設の充実と大学の変貌ぶりには参加者一同驚きを隠せませんでした。講演では、感染症を媒介する寄生虫の分布が温暖化の影響で北に広がっているとのことのお話に危機感を持ちました。本州とは津軽海峡で隔絶された北海道、その中でも寒冷的な土地に居住



している我々ですが、今後は少なからず影響がありそうです。実験動物学という講座さえ無かった4年制世代としては、どんな難しい内容になるかと不安と期待でドキドキものでしたが、講演が始まると、厳寒の立山に登って雷鳥から採血し血球中の原虫を調べる話や、水族館のペンギンの病原体を探して施設周辺の蚊からDNAを分離する話など、とても興味深く聞き入りました。

会場を移した懇親会では高橋直己会員（平成7年卒）の司会進行のもと、それぞれが自己紹介・近況報告などを行い、和気藹々とした雰囲気の中で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

今後は、マンネリ化に気をつけて多数の会員に参加してもらえ企画運営をしていきたいと考えております。

文責：東北北海道支部事務局 井上 寧洋（昭和56年卒）

■岐阜県支部日より

◆平成25年度 角笛会岐阜県支部総会にて

平成25年9月21日（土）に岐阜市の繁華街にあります季節料理のお店「うを義」にて、平成25年度角笛会岐阜県支部総会および懇親会を開催しました。

折しも岐阜大学にて「第156回日本獣医学術集会」が開催されており、事務局である渋谷久先生のお骨折りにより、学術集会に参加されていた日大（現役）の先生方にもお声をかけていただき、丸山総一先生をはじめ日大の先生9名と東京家政大学の森田幸雄先生（角笛会群馬県支部所属）のあわせて10名の先生に出席して頂いた中で開催となりました。

岐阜県支部からは大谷健支部長をはじめ出席者は15名でしたが、事前に日大の先生方も出席されると連絡してあったこともあり、今回初めて出席される会員もありました。

通常総会終了後には、渋谷先生より、大学や角笛会の近況について情報提供していただきました。

また、懇親会に先立ち角笛会功労賞を受賞されました吉田宗弘前支部長にあらためて出席者全員によるお祝いの拍手が贈られました。

懇親会が始まると老若男女の境なく、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しい語り合いの輪がいくつも出来ていました。

岐阜県支部では久しく日大の先生方を交えた総会・懇親会を開催したことがなかったため、今回はとても有意義な会となりました。

懇親会の最後には丸山応援団長？の指揮のもと「日本大学校歌」を出席者全員で謳歌し、閉会となりました。久しぶりに校歌を歌うこととなりましたが、みなさん愛校心があるためか歌詞を覚えているものですね（スマホで歌詞を確認している会員もいましたが・・・）。

来年も総会が盛大に行われるように、また多くの会員に出席して頂くためにも、日大から先生方をお招きするとともに、母校との絆を一層深めていこうと思っています。 文責：岐阜県支部事務局 杉山 裕司（平成5年卒）

学会関連記事

※角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄りください。



第52回日本大学獣医学会開催案内

日 時：平成26年7月頃

場 所：未定

問 合 せ：事務局

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866

日本大学生物資源科学部

獣医外科学研究室（枝村 一弥）

TEL.0466-84-3373

E-mail: edamura.kazuya@nihon-u.ac.jp

ホームページアドレス http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml

◇求人のお願ひ◇

女子学生の増加に伴い、小動物臨床の勤務獣医師を希望する者が増えております。会員からの求人申し込みは学生就職指導課ならびに就職指導委員（枝村一弥専任講師、渋谷 久准教授）までご連絡下さい。

編集後記

角笛会報にご意見、ご希望等がございましたら獣医外科学研究室の手島（teshima.kenji@nihon-u.ac.jp）あるいは角笛会事務局（tsuno-3@brs.nihon-u.ac.jp）までご連絡下さい。（平成25年11月 手島健次 平成15年卒）